どうなる？待ったなしのゴミ問題!!

とくしま NO19

井戸端会議
おばちゃん連

2023年2月
多田 ひで
080-3762-6225

中洲

単独ですれば

総事業費 456億円

- 247億2千万円（国の補助）
- 208億8千万円（徳島市の負担）

単独に舵を切った理由
30年先の徳島市の次の施設の場所を、他の市町が提示できなかったこと

問題点、

① 南海トラフがおこれば、埋め立て地であるマリンピアには津波と液状化がおこる
津波には費用はかかるが防波堤を作ればいい
しかし、液状化には対策するということは不可能である

② 単独ですれば広域計画の、2.3倍の徳島市の負担になる
90億円 ⟶ 208億円

③ 国は環境の面、コストの面から、広域ゴミ処理施設を推奨してる

④ 佐那河内村の時から10年がたとうとしているゴミ処理施設。
何の説明もなく、話し合いもなく徳島市は一方的な脱退表明をした。加えて、小松島市からの意見書は受け取り拒否をした。（2回も～）、徳島市の信頼が損なわれた